

自己評価・外部評価結果

事業所名	愛の家グループホーム高砂伊保	
評価年度	令和4年度	
自己評価確定日	令和4年11月30日	
外部評価確定日	令和5年1月26日	
評価者(運営推進会議参加者)	所属(職名)	氏名
	高砂市地域包括支援センター	依藤 あゆみ
	地域の方	増田 雅俊
	ご家族	松本 雅也
	事業所管理者	北畑 千香子
	事業所ケアマネジャー	藤田 三智子



## 自己評価・外部評価・運営推進会議活用ツール

No.	タイトル	評価項目	自己評価	記述	運営推進会議で話しあった内容	外部評価	記述
<b>I 理念・安心と安全に基づく運営</b>							
1	理念の共有と実践	地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	入社研修で理念の解説を実施。玄関先にも掲示し、日々共有に努めている。各ユニットには、ユニットの理念を掲示している。			今後も理念の共有を継続していく。
2	事業所と地域とのつきあい	事業所は、利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、認知症の人の理解や支援の方法などを共有し、事業所自身が地域の一人として日常的に交流している	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	日々の散歩で近隣住民と挨拶を交わしている。祭りの時は見学させて頂いている。地域の薬局様、水道工事会社様等にお世話になっている。	・認知症の人の理解や支援の方法を共有する。 ・コロナ禍により、勉強会や相談会が開けなくて共有出来ない。トライアルウィークやボランティアの受け入れが出来ない。		コロナ禍でもできること(ホームページ等で認知症の人の理解や支援の方法等を発信等)を考える。
3	運営推進会議を活かした取り組み	運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	コロナ禍で開催できなかった時期は紙面報告実施。開催できた時は事故対策等の話し合いを行った。	紙面報告で状況は概ねできている。		紙面報告時は、意見を書ける紙を添付する等意見を出しやすくする。
4	市町村との連携	市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	コロナ対応や運営規定の改定等随時電話や訪問で相談している。	日頃から、市町村担当者を訪問したり、電話やメールでやり取りして協力関係を築けている。		今後も継続する。
5	身体拘束をしないケアの実践	代表者および全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	3カ月毎に身体拘束に関する研修を行い、身体拘束をしないケアを実践している。		A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	今後も継続する。
6	虐待の防止の徹底	管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	3カ月に1回虐待防止の研修を実施すると同時に職員交代で不適切ケアチェックシートを記入、上司がチェック・面談し虐待に繋がる行為がないか確認している。		A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	今後も継続する。
7	権利擁護に関する制度の理解と活用	管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	成年後見制度利用を希望する入居者様・ご家族に対し管理者やケアマネが書類作成等の支援をしている。			職員研修で制度の周知を図っていく。

8	契約に関する説明と納得	契約の締結、解約また改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	契約時等は本社作成の入居対応マニュアルに沿って、不安や疑問点を尋ねながら十分な説明を行っている。			今後も継続する。
9	運営に関する利用者、家族等意見の反映	利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	運営推進会議がコロナ対応で開催があまりできなかった。全社的にご家族様へのアンケートを実施した。		A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	アンケート結果を職員全員で共有し、今後の運営に反映するよう努めていく。
10	運営に関する職員意見の反映	代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	毎月、ユニットごとに会議を開催し、運営に関する職員の意見や提案を聞くようにしている。			いつでも相談しやすい職場づくりを目指す。
11	就業環境の整備	代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	評価制度を採用し、各自の努力や実績等を把握し、向上心を持って働けるように環境・条件の整備に努めている。		A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	今年度も勤続表彰や、評価制度で昇段した職員が数名いる。
12	職員を育てる取り組み	代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	毎月全社的研修計画に基づいて、内部研修を実施。本社主催のズーム研修も新入社員等に受講してもらっている。		A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	毎年働きながら実務者研修修了し、介護福祉士資格を取得する職員がいる。
13	同業者との交流を通じた向上	代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	地域包括支援センター主催の勉強会等に事業所から参加するよう努めている。			コロナ禍で相互訪問は難しいが、電話やメール等で情報交換等に努める。
14	本人と共に過ごし支えあう関係	職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	職員と入居者様と一緒に、洗濯量みや食器拭き等毎日行っている。			入居者様の残存能力に合わせて、「出来ること」を続けて頂く。
15	馴染みの人や場との関係継続の支援	本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	コロナ禍で短時間であるが面会実施。ご本人の希望があれば、お手紙を出す支援等している。	ZOOM 面会はどうですか？		今後も状況を見ながら可能な対応を続けていく。

II. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント

16	思いや意向の把握	一人ひとりの思いや暮らし方、生活環境、一日の過ごし方の希望や意向の把握に努めている。	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	例えば食事の好き嫌い。卵が嫌いな方であれば具体的にどの卵料理が嫌いか尋ねて、ゆで卵が大丈夫であれば召し上がって頂く等の対応をしている。			入居時から十分にアセスメントを実施し、定期的に継続していく。
17	チームでつくる介護計画とモニタリング	本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	ご本人やご家族との会話を基に、月一回ユニット会議で現状を共有し、意見やアイデアを出し合い現状に即した介護計画を作成している。	今のままで良い。	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	今後も継続する。
18	個別の記録と実践への反映	日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	事業所では介護記録はスマホ入力になっており、個々の入居者について気づき等細かいことまで随時記録している。		A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	事故やヒヤリハットは即回覧し、再発防止に努める。他の記録も皆が小まめに見る習慣付けをして、共有の漏れがないようにする。
19	一人ひとりを支えるための事業所の多機能化	本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	入居者が重度化した時や、ご家族から相談があった時には事業所で出来ることであれば柔軟に対応するようにしている。	一人ひとりの状況に応じた支援をしている。ご家族それぞれの思いに寄り添った形で支援している。		経済面で相談、重度化した時の相談等随時対応している。
20	地域資源との協働	一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	お花見ドライブ、公園散策等入居者様に豊かな暮らしを楽しんで頂くよう支援している。	コロナ禍での制限は仕方ない。		今後もできる範囲でドライブ等を行事に取り入れていく。
21	かかりつけ医の受診支援	受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	かかりつけ医、訪問看護、薬剤師等と連携し、適切な医療を受けられるように支援している。			医療職との良好な関係の継続に努める。
22	入退院時の医療機関との協働	利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	入院先の地域連携室と随時連絡を取って状況確認に努め、退院前カンファレンスにも可能なら参加するようにしている。		A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	今後も継続する。
23	重度化や終末期に向けた方針の共有と支援	重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明	A. 充分にできている B. ほぼできている	重度化した場合や終末期の在り方について、ご本人やご家族の思いを尊重し、対応可能なことを十分説明		A. 充分にできている B. ほぼできている	今年度も看取り介護を行い、最後まで毎日のご家族と連絡を取

		ながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	C. あまりできていない D. ほとんどできていない	しながら、主治医・訪看とともにチームで支援に取り組んでいる。		C. あまりできていない D. ほとんどできていない	りながらチームで支援に取り組んだ。
24	急変や事故発生時の備え	利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	急変時や事故発生時のマニュアルを各ユニットに配置しいつでも対応できるように整備している。研修も行い周知を図っている。			全職員が実践力を身に付けるよう、訓練を続ける。
25	災害対策	火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	本社作成のBCP計画に基づき、研修を行っている。火災時の避難訓練は消防署と連携して通報訓練を実施している。	避難場所は伊保小学校になっているが、高齢者を伊保小学校まで誘導するのは困難でかえって危険。水害時は基本的に2階に垂直非難する。	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	災害に対する危機意識をしっかりと持つよう研修していく。
<b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>							
26	一人ひとりの尊重とプライバシーの確保	一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	不適切ケアチェックシートを定期的に職員が記入し、問題があればユニット会議で共有し都度改善するようにしている。		A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	日頃から、職員同士で注意し合える環境づくりに努める。
27	日々のその人らしい暮らし	職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりの日常生活における希望や意向、暮らしのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	入居者様個々の趣味やペースを把握し、「好きなこと」を続けながらその方らしく日々過ごして頂くよう支援している。			日々の会話の中から希望や意向を汲み取るようにする。
28	食事を楽しむことのできる支援	食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	テーブル拭き・お茶入れ・食器拭き等を入居者様と職員が一緒に、毎日楽しく食事している。		A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	衛生管理に努めながら、継続していく。
29	栄養摂取や水分確保の支援	食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	自立支援ケアに取り組み、食事量・水分量を日々データに残している。普通食からミキサー食まで対応し、低栄養が懸念される入居者様には栄養補助食品の提供も行っている。			自立支援ケアは全体的取り組みであり、今後もデータ化含め継続していく。
30	口腔内の清潔保持	口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	食後は口腔ケアの声掛けをして、必要に応じて介助している。義歯装着の方には毎晩ポリドント洗浄を行い、清潔保持に努めている。		A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	ご希望の方には、週一回歯科往診を受けて頂いている。

31	排泄の自立支援	排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援、便秘の予防等、個々に応じた予防に取り組んでいる	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	不必要に紙パンツやパッドを使用しないようにしている。全体の半数近い入居者が布パンツを着用している。水分補給・運動・医療職との連携で便秘予防に努めている。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	訪問看護師とも連携し、重度化した方は身体に負担のないよう、座薬使用や摘便等も行っている。
32	入浴を楽しむことができる支援	一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々にそった支援をしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	入浴は概ね午後実施しているが、無理強いせず一人ひとりの希望やタイミングを考慮するようにしている。プライバシーに配慮し一人ずつゆっくり入浴して頂いている。			入浴剤や保湿クリームを使用し、皮膚保護にも努める。
33	安眠や休息の支援	一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	日中日光浴や散歩等の活動を充実させることにより夜間の安眠に繋げている。オムツ対応の方には交換の時間の調整を行い、安眠できるようにしている。			夜間不眠があった時は、申し送り時不眠の原因がなかったかスタッフ間で話し合っている。
34	服薬支援	一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	写真付き服薬説明書を各ユニットに配置し毎月更新している。薬について何かあれば薬剤師に相談している。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	自立支援ケアで減薬にも努めている。
35	役割、楽しみごとの支援	張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	入居時に生活歴の聞き取りをし、趣味や日課を継続できる環境を作っている。散歩・家事等積極的に参加して頂ける様支援している。	生活歴や要望に合わせてられるよう個別の支援を行う。		レクリエーション時等も入居者の表情や様子を観察する。
36	日常的な外出支援	一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるよう支援している	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	コロナ禍で遠出はできないが、日課として散歩を取り入れ、地域住民と交流機会を持つようにしている。	現状の中で出来ることをしてもらいたい。		ドライブや散歩を継続して楽しんで頂く。
37	お金の所持や使うことの支援	職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	金銭事故防止の為、現在はお小遣い管理は行っていない。希望があれば、柔軟に対応していく。			現在は希望無し。

38	電話や手紙の支援	家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	電話や手紙のやり取りは、自由にして頂ける様希望があれば支援している。			今後も継続する。
39	居心地のよい共用空間づくり	建物内部は一人ひとりの身体機能やわかる力を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。共用の空間が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、一人ひとりが居心地よく過ごせるような工夫をしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	リビングでは、毎月季節に合わせた壁面作りを職員交代で行っている。共用の空間に関しては圧迫感がないように環境を整えている。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	最近では入居者がクリスマスツリーを見て喜んでおられました。
IV. 本人暮らしの状況把握・確認項目(利用者一人ひとりの確認項目)							
40	本人主体の暮らし	本人は、自分の思い、願い、日々の暮らし方の意向に沿った暮らしができています	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	入居者と会話を重ねる中で、ご本人の思い・願いを汲み取り、意向に沿った暮らしができるよう支援している。			今後も継続する。
41		本人は、自分の生活歴や友人関係、暮らしの習慣、特徴など様々な情報をもとに、ケア・支援を受けることができます	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	入居時に時間をかけて、生活歴の聞き取り、アセスメントを実施し、チームで情報を共有しケアを行っている。			入居後も会話を重ねて、情報収集する。
42		本人は、自分の健康面・医療面・安全面・環境面について、日々の状況をもとに、ケア・支援を受けることができます	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	医師・看護師・薬剤師と連携し、健康面・医療面・安全面・環境面について状況に応じたケアを提供している。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	医療連携の体制が確立しており、体調不良時等すぐに訪看等に相談している。
43		本人は、自分のペースで、これまでの暮らしの習慣にあった生活ができています	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	起床や就寝時刻を一律にせず、ご本人のペースで生活して頂いている。			今後も継続する。
44		本人は、自分のなじみのものや、大切にしているものを、身近(自室等)に持つことができます	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	自室には、馴染みの家具や家族の写真、仏壇等危険のない限り自由に置いて頂いている。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	なじみのものや、大切にしているものを自室に持つことで自分の居場所と認識し、穏やかに過ごすことが出来ている。

45		本人は、自分の意向、希望によって、戸外に出かけることや、催(祭)事に参加することができている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. ③あまりできていない D. ほとんどできていない	コロナ禍で外出制限はある。散歩がお好きな方には毎日行って頂く等現状でできる範囲で支援している。	現状の中で出来ることをしてもらったらよい。		コロナ禍で外出制限はあるが、引き続き散歩や外気浴等を楽しんで頂く。
46		本人は、自分ができていること・できないこと、わかること・わからないことを踏まえた、役割や、楽しみごとを行うことができている	A. 充分にできている B. ③ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	ご本人に出来る家事や趣味に継続して取り組んで頂ける様支援している。レクリエーションでは個々の状態に応じたプログラムを提供し、全員参加して頂くようにしている。			日々の申し送りやユニット会議でご本人の状況確認を行い、スタッフ間で共有する。
47	本人が持つ力の活用	本人は、自分がいきいきと過ごす会話のひと時や、活動場面を日々の暮らしの中で得ることができている	A. 充分にできている B. ③ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	ホーム内では入居者様同士が笑顔でお話しされたり、元気にゲームや体操をされる姿が毎日見られる。		A. 充分にできている B. ③ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	入居者様個々に合わせた支援を続けていく。
48		本人は、自分なりに近隣や地域の人々と関わったり、交流することができている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. ③あまりできていない D. ほとんどできていない	散歩時や日光浴時に、顔なじみの近隣住民と笑顔で挨拶を交わしている。コロナ禍の為、ボランティアの受け入れは中止している。	現状の中で出来ることをしてもらったらよい。		ベランダや庭から祭り見学をする等工夫して地域参加をしていく。
49	総合	本人は、この GH にいることで、職員や地域の人々と親しみ、安心の日々、よりよい日々をおくることができている	A. 充分にできている B. ③ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	大半の入居者様が、GH での暮らしを受け入れ穏やかに過ごされている。「ここでは、栄養を考えてご飯を出してくれているよ」等言ってくれる方もおられる。	入居当初は戸惑いがあったが、他者と関わることで気持ちが穏やかになり、よりよい日々を送れている。	A. 充分にできている B. ③ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	今後も本人に寄り添うケアの実践に努める。